

艇軸からソールピンまでの水平距離をスプレッド、スカルでは左右のソールピンの間隔をスパンといいます。

1 リガースプレッド

Spread

リガースプレッドとは、艇の中心から、オールロックのピン(回転軸の中心)までの水平距離のことです。特にスィブ艇の場合に測定します。測定は、キールライン上に補助棒を1本たてて、そこからオールロックピン(軸中心)までの距離(スプレッド)を、メジャーやロッドなどを使って測定します。

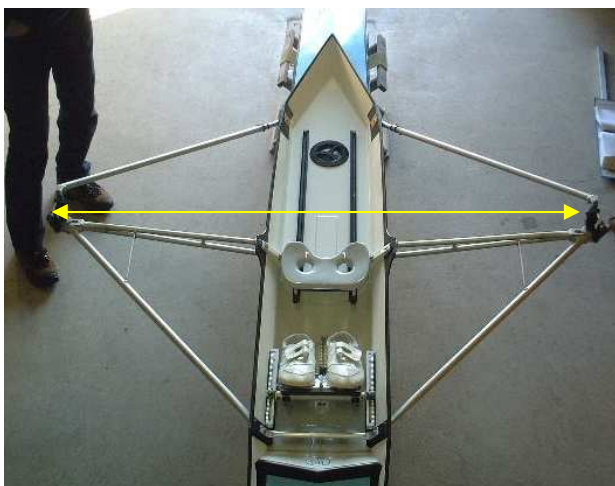


スプレッドは艇軸からソールピンまでの水平距離のこと

2 スパン

Span

スパンとは、スカルで、両側のオールロックピン(回転軸の中心)の間隔をいいます。メジャーを使って、測定します。



スパンとは、左右のオールロックの回転軸の軸間距離

3 調整方法

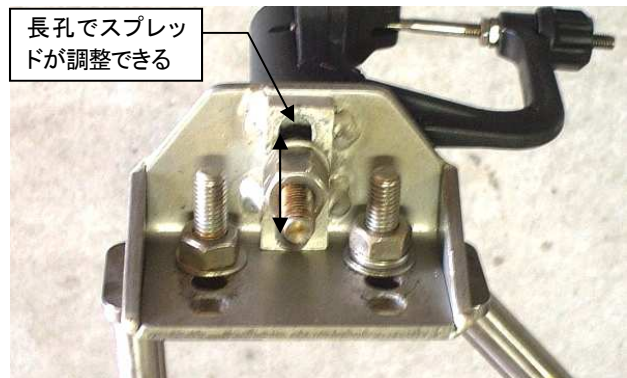
スプレッドやスパンの調整は、リガースの機構によって様々な方法がありますが、現在の主要な方式は以下の3タイプです；

- ①L板式:L板の長穴でシャフト位置を調整する。
- ②ユーロリガー: リガースの端が長穴になっている。
- ③パウ・ウィング:C型ブラケットの付け根で調整できる。

3.1 L板による調整

Base Plate

規格艇に多いタイプで、リガーステイ先端に2つのボルトが突き出し、そこに取り付けられたL板にスプレッド(スパン)調整用の長穴がある場合です。調整は、スプレッド計測の後、オールロックシャフト(あるいは台座)のL板への固定ボルトをゆるめ、長穴の中で固定位置を変更します。

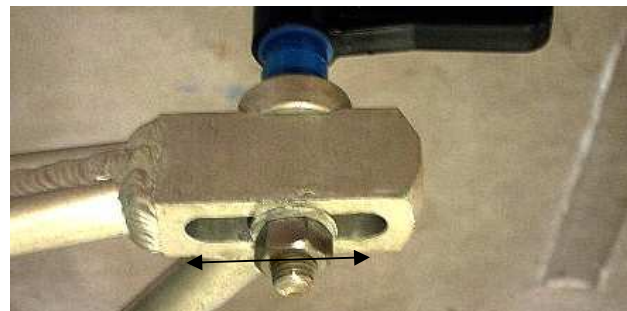


L板は、長孔の位置でスパンを調整できる。

3.2 ユーロリガー

Adjustable Rigger

リガーステイ(センターステイ)の端が、長孔になっていて、調整できるタイプがあります。



スパンが調整可能なリガー



Cブラケットの取り付け部がスライド(WinTech, 2017)

注意！: スパン(スプレッド)を調整するときは、ピンを固定しているナットを緩め、手で位置を調整し、ピンが動かないように、最終段階は、締め付けるときのスパナを艇の前後方向に引っ張るように使います。また、ピン下にスプリングワッシャを挟んでいる場合は、それは不要で、プレーン・ワッシャのみにします。ピンをスパナでたたいて調整してはいけません！ピンに傷をつけてしまいます。